ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	35c-2	調査位置				北　緯	36 ° 44 ’ 44.0000 ”
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2007-09-21 ～ 2007-09-25	東　経	139 ° 30 ’ 51.0000 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	1063.98 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 35.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	10.00 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	1063.58	0.40	0.40		盛土(礫混じり粘土)(BS)	茶褐			[0.01]コンクリート片が混入する粘性土主体の盛土。		
1	1062.38	1.20	1.60		ローム(Lm)	茶		非常に軟らかい	[0.5]全体に火山砂が混入する層相均質なローム。 [1.2]含水・粘性中位。		
2	1061.78	0.60	2.20		礫混じりローム(-G)	茶褐			[1.61]全体に径30mm以下の礫が混入するローム。 [2.02]含水中位。		
3 4 5	1058.18	3.60	5.80		玉石混り砂礫(GS-B)	暗紫～茶褐			[2.73]火山砕屑物。最大径500mm程度の玉石が混入する砂礫。 [3.85]基質部は締まり度良好な火山砂主体。 [4.98]含水中位。		
6 7 8	1055.48	2.70	8.50		砂礫(GS)	暗紫～茶褐			[6.18]径30～80mm程度の安山岩礫が混入する砂礫。火山砕屑物。 [7.15]基質部は締まり度良好な火山砂。 [7.83]含水中位。		
9 10	1053.98	1.50	10.00		中硬岩(MR)	暗紫			[8.51]上部20cm程度は亀裂多く岩片状コアを呈するが、以深堅硬緻密な安山岩溶岩で棒状コア主体。 [9.08]亀裂は開口状で亀裂面は酸化鉄によって褐色に汚染されている。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1			1／45	1
1.60					
2.15	7	35	8	50／23	>50
2.38	50			50／0	
3.00					>50
3.00					
4.15	13	17	10	40／30	40
4.45					
5.35	50			50／10	>50
5.45					
6.15	33	17	7	50／17	>50
6.32					
7.15	27	23	8	50／18	>50
7.33					
8.15	50			50／3	>50
8.18					
9.00	50			50／0	>50
9.00					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/21
						09/24
						09/25